

2019年4月吉日  
特定非営利活動法人  
がんの早期診断・治療に必要な病理診断の総合力を向上させる会

## 米国 MD アンダーソン癌センターの研修コース

### ‘Advanced Molecular Pathology Course’の成果アップデート

「特定非営利活動法人がんの早期診断・治療に必要な病理診断の総合力を向上させる会」(略称：NPO 法人病理診断の総合力を向上させる会)は、表記研修コースの主旨に賛同し、この活動を後援しています。同コースの研究成果をアップデートいたします。

2018年10月から12月末まで、広島大学医学部4年生の学生が、医学教育実習のため MD Anderson Cancer Center の当研究室に College Student として参加され、文部科学省の留学プログラム「トビタテ！留学 Japan」の第9期の派遣留学生に採択されました。1,996名が応募、634名の採択者のうちの1人となりました。さらに3ヶ月の実習後、広島大学での研究成果報告会(2019年1月)でインプレッション賞を受賞しました。

詳細は以下のリンクに掲載されています(広島大学大学院ホームページ)。

[https://home.hiroshima-u.ac.jp/byoril/labo\\_education/hori.html](https://home.hiroshima-u.ac.jp/byoril/labo_education/hori.html)

また2019年5月から6月まで、順天堂大学医学部6年生の学生が MD Anderson Cancer Center の当研究室に Observer として参加されるにあたり、文部科学省の留学プログラム「トビタテ！留学 Japan」の第10期の派遣留学生に採択されました。252校・1,428人が応募、136校・432名の採用のうちの1人となりました。

当プログラムは、学生の短期留学に際してもフェローシップの取得を推奨し、応募未経験者に対して積極的に応募に関する支援、指導を行っています。応募を通して留学中の到達目標をクリアにし、目標到達への迅速化を図っています。

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

担当：NPO 広報委員 椎名博之(サクラファインテックジャパン株式会社)

TEL03-5643-2632 FAX:03-5643-3381 e-mail:byorinpo@pathcare.jp

## MD アンダーソン癌センター Advanced Molecular Pathology コース

### (MD アンダーソン AMP コース)の後援について

米国テキサス大学 MD アンダーソン癌センターは、癌部門で全米 1 位<sup>\*1</sup>とされる癌センターで、約 2 万人が働いています。最先端治療だけでなく最先端医療の研究開発にも優れていることから、世界各国から癌患者、研究者、研修医等の医療従事者が集まってきます。

MD アンダーソン癌センター教授陣の一人である藤本淳也先生は、2012 年より同施設にて、トランスレーショナルがん研究において、日本の病理を専門とする熱意ある臨床検査技師<sup>\*2</sup>に対する研修の機会を提供してきました。これは臨床検査技師がより深い知識を求めて留学するには、現状で公式な枠組みがない事を鑑みて始められました。

現在は、また定期的にリニューアルされる最先端の機器が多層的に、しかも病理学をベースにした最先端のがん治療プロジェクトで有機的に運用している環境を熱意ある学部大学生、大学院生、研究に興味のある病理医、病理学臨床検査技師、病理学ベースとした分子病理技術に興味のある方に提供されています。

1. 最先端の分子生物学的手法をいち早く習得し、日本の病理学研究室、検査室へのフィードバックを担いたい。
2. アカデミアにおけるトランスレーショナルリサーチのコンセプトを学び、基礎研究を現実の医療に応用し、医療の発展に貢献する流れを牽引したい。
3. 次世代の認定病理検査技師、学位取得研究者や若手医師に新たなキャリアパスを提示・指導したい。

MD アンダーソン AMP コースは、世界をリードできる人材育成の可能性を秘めています。このプログラムは、病理医不足と云われて久しい病理学を取り巻く現状の中で、病理医とともに病理を理解するMD、Non MDを「先端医療へトランスレーションする病理ベースの知識を共有する」チームの一員としてスキルアップをめざすことで、病理医不足の現状を側面から支援し、現場をボトムアップする方法として期待されます。

NPO 法人病理診断の総合力を向上させる会は、これまでの活動を経て MD アンダーソン AMP コースの主旨に賛同し、この活動を後援致します。

\*1：アメリカ全土の 5000 病院の中から疾病毎に順位をつけたもので、アメリカ 3 大ニュース週刊誌の U.S. News & World Report' s より発表される  
(<http://health.usnews.com/best-hospitals/rankings/cancer>)

\*2：臨床検査技師（Ph.D コース大学院生、大学院修了修士保持者）、将来分子病理業務に携わる計画のある学位保持者

Junya Fujimoto M.D., Ph.D.

Assistant Professor, Translational Molecular Pathology

Thoracic Molecular Pathology Lab (Dr. Wistuba's Lab)

The University of Texas MD Anderson Cancer Center

Visiting Associate Professor

Department of Pathology

Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences

Visiting Associate Professor

Department of Molecular Pathology

Hiroshima University Institute of Biomedical and Health Sciences

Tel: (713) 745-4314

FAX:(713) 563-8821

Pager:(713) 606-0581

Mail address: [JFujimot@mdanderson.org](mailto:JFujimot@mdanderson.org)

[http://faculty.mdanderson.org/Junya\\_Fujimoto/Default.asp](http://faculty.mdanderson.org/Junya_Fujimoto/Default.asp)